

再確認！牛伝染性リンパ腫（牛白血病）対策

牛伝染性リンパ腫(旧名:牛白血病)は年々全国で増加傾向にあります。発症率は数%と低く、多くは無症状ですが、乳質の低下、繁殖成績の低下が報告されているほか、と畜場で摘発されると枝肉が全廃棄になるなど経済的損失の多い疾病です。ここでもう一度予防対策を確認し牛伝染性リンパ腫から経営を守りましょう。

【感染経路】

➤感染牛の血液や乳汁を介して感染します。

- ① アブ等の吸血昆虫
- ② 去勢、除角等の際の出血
- ③ 注射針や直検用手袋、耳標・鼻環装着器具の使いまわし
- ④ 子宮内での胎子への感染や、分娩時の出血、初乳による子牛への感染

予防対策のポイント

- 抗体陰性牛は抗体陽性牛と距離を離して飼養しましょう。予め抗体検査を行って、牛舎内の抗体陽性牛を把握しましょう。
- 注射針、直検用手袋等は1頭ごとに交換しましょう。
- できるだけ陽性牛の初乳を子牛に給与しないようにしましょう。やむなく利用する場合は、凍結してから利用する(深部まで完全に凍結させる)、パスチャライザー等で加熱してから(60℃30分)使用する、あるいは代用乳を利用するなどしましょう。
- 抗体陽性牛は生涯ウイルスを体内に持ち続けます。抗体陽性牛については優先的な更新を検討するようにしましょう。
- 血液を介して感染が広がるので、防虫ネットや忌避剤、殺虫剤、アブトラップ等を活用して吸血昆虫対策にも努めましょう。

ご不明な点や抗体検査については家畜保健衛生所までお問合せ下さい。

神奈川県県央家畜保健衛生所

本所 〒243-0417 海老名市本郷3658
電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124
東部出張所 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076
電話：(045)934-2378 ファクシミリ：(045)934-5432

県央家保ホームページ



